

## 平成23年度 資格講習レポート その3

### 第二級特殊海上無線技士講習(9月12日～14日)

漁船をはじめ船舶が航行する際には、他船との衝突防止や連絡を行うための手段として、無線電話やレーダーは必要不可欠なものです。これらの設備を操作するためには、国家資格である免許を取得しなければなりません。そこで、学園ではその資格「第二級海上特殊無線技士」を取得できるよう、(財)日本無線協会東海支部の御協力のもと、毎年講習会(養成課程)を開催しており、今年も9月中旬に3日間にわたり実施しました。

講習会は、生徒だけでなく、県内の漁業関係者の方々も参加して行われました。授業は、電波法など関係法令に関する「法規」と無線の原理や操作に関する「無線工学」の2種類があり、生徒たちは初めて見聞きする言葉や内容に若干戸惑いながらも、一生懸命取り組みました。

最終日には終了試験を行い、残念ながら合格できなかった生徒もいましたが、ほとんどの生徒は合格し、漁船員として必要な資格をまた一つ手に入れることができました。



講習の様子

## 平成23年度 実習レポート その3

### 機関整備及び(株)赤阪鐵工所の見学(9月27～28日)

機関実習棟にあるエンジン(赤阪鐵工製600PS430RPM)の分解整備を行いました。メーカーから講師に来ていただき、4番シリンダーのピストン抜き出し作業を生徒全員で行いました。教科書では分かっていたつもりピストン、シリンダでしたが、実際の作業によって、なるほどと理解できます。構造、機構についての理解はもちろん、ナット1個、ボルト1本を緩めるためには、大きな力を必要とし、力の入れ方、体の使い方が重要であることが分かりました。

分解、点検、清掃、計測、組立復旧と行い、2日目に試運転を行い、快調に回るエンジンを全員で確認しました。

その後、マイクロバスで移動し、(株)赤阪鐵工所豊田工場の見学をさせていただきました。最初に映像によるエンジン製造の全体を教えてもらった後、現場の工場内で、鑄造行程や機械加工、部品仕上げ・組立工程を見学しました。また、普段お目にかかることはない、一軒家を凌ぐほどの大きな2ストロークエンジン(7000PS)の試運転も見学させていただきました。このエンジンを積み込む船の大きさはちょっと想像できません。

なにはともあれ貴重な体験をした2日間でした。



エンジンの分解・組立ての様子